

地域福祉推進委員会 第9号 2022.10 発行

ほっとネットしょうぶ通信

発行：ほっとネットしょうぶ 問合せ：多摩市社会福祉協議会まちづくり推進担当
関戸 4-72 ヴィータコミュニティー7階 ☎042-373-5616 ㊟042-373-6629

6月25日（土）の地域福祉推進委員会では、「身近な地域でのつながり、地域資源を知ろう！！」をテーマに、社会福祉法人 楽友会の紹介と楽友会が市から委託されている多摩市地域包括支援センターに寄せられた相談事例をあげ、参加者でグループワークを行いました。

～社会福祉法人 楽友会～



どこにあるの？

松が谷トンネル手前の右側
に見える大きな建物です



施設の中には何があるの？

～施設紹介～

・軽費老人ホーム「偕楽荘」

自立した60歳以上の方で、家庭環境や住宅事情により居宅において生活が困難な方を対象にした施設。

・白楽荘デイサービスセンター

【通所介護】

介護認定「要支援」「要介護」と認定された方。通所して来て、趣味活動やレクリエーション・生活リハビリ等を行う施設。

【認知症対応型通所介護】

介護認定「要介護 1以上」で認知症と診断された方。通所して来て、趣味活動やレクリエーション・生活リハビリ等を行

・特別養護老人ホーム「白楽荘」

【長期入所】

介護認定「要介護3～5」と認定された方。日常生活に介護が必要な方の生活の場として、入浴、排泄、食事の介助など日常生活上のお世話や日常動作訓練などを行う施設。

【短期入所生活介護・ショートステイ】

介護認定「要介護 1～5」と認定された方。家族がなんらかの都合で一時的に介護ができない場合や不在となる時などに、短期間宿泊する施設。

・白楽荘居宅介護支援事業所

介護保険の認定を受けた方がサービスを利用するためのサービス計画を作成する事業所。

・多摩センター地域包括支援センター

高齢者の総合相談窓口。介護に関する悩みや困りごとのほか、健康や福祉に関する様々な相談を受ける施設。

・白楽荘訪問介護事業所

自立した日常生活が送れるように自宅にホームヘルパーを派遣する事業所。

事例1

ひとり暮らし男性・80歳代
衣替えをしたときに、脚立から転倒し腰を打ち
動けなくなり、娘から高いところに上がらない
ように言われている。リビングの蛍光灯が切
れ、1週間ほど我慢していた。

⇒**蛍光灯を替えて欲しい。**



ちょっとした
困りごと

ちょっとした
困りごと



事例2

ひとり暮らし女性・80歳代
エレベーターなしの団地に住んでいる。膝の痛み
があり、階段昇降が大変でゴミ出しが出来ず、室
内にゴミをためるようになってしまった。

⇒**ゴミ出しを手伝って欲しい。**

- ・蛍光灯交換は、有料でサービスを提供して
くれる事業者があるが、ゴミ出しは、ゴミを
捨てる時間が限られていて、対応できる事業
者を探すのに苦労している。
- ・蛍光灯の交換やゴミ出しの手伝いは、5～
10分程度の短時間で終わる。

「ちょっとした困りごと
と何か良い方法ないか」を
テーマに話し合いました。

参加者の声

- ・ゴミ出し支援は、大学生がボランティアとして協力できる。
- ・退職された男性が地域で活躍できる場があるといい。
- ・ちょっとした困りごとは、ご近所で解決できるといい。

・**近所にちょっとした困りごとを助け合う仕組みがあるといい。**



参加者の声を受けて・・・

第5回「ほっとネットしょうぶ」では、多摩市内のたすけあいの仕組みづくり
を実際に行っている方のお話をお聞きします。自分の住んでいる地域につい
て、考えてみませんか？

第5回ほっとネットしょうぶ

12月17日（土）10時～12時 総合福祉センター7階研修室

※コロナウイルス感染状況によっては、中止する場合があります。